

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第34週 （8月21日～8月27日）

## ★お知らせ

### ○手足口病に気を付けて

定点医療機関当たりの報告数は第33週の1.17から第34週では1.13と横ばいです。県全域から報告があり、幡多、高知市で減少していますが、中央西、安芸で急増、中央東で増加し、中央西、幡多で注意報値を超えており引き続き注意が必要です。

国内の手足口病由来ウイルスの検出状況は、2017年第1週から第32週までの合計でCA6が63.9%と最も多くなっています。

感染経路としては、飛まつ感染、接触感染、糞口感染が知られているので、以下のことに注意して感染予防しましょう。

#### <予防対策>

- 接触感染を予防するために大人も子どもも手洗いをしっかりすること。（タオルの共有はしない）
- 排泄物を適切に処理し（塩素系漂白剤が消毒効果があります）、しっかりと手洗いすること。
- 治った後も比較的長い間（2～4週間）便中にウイルスが排泄されるため日頃からの手洗いが大切

### ○咽頭結膜熱に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第33週の0.30から第34週では0.37と増加しています。高知市、中央東、須崎で急減していますが、幡多、中央西で急増し、幡多では注意報値を超えています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使いましょう。
- 4) プールからあがった時はシャワーをよく浴びましょう。

#### 消毒方法

手指に対して：流水と石けんによる手洗い、および70%エタノール。

器具に対して：煮沸、次亜塩素酸ソーダ（消毒用エタノールでは消毒効果が弱く、逆性石けん、イソプロパノールには抵抗性なので注意）

また、プールを介しての流行はプールの塩素濃度を適正（遊離残留塩素濃度が0.4mg/l～1.0mg/l以下）に維持することが対策になります。

### ○RSウイルス感染症に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第33週の1.03から第34週では2.47と急増しています。中央西で急減していますが、幡多、中央東、須崎で急増、高知市で増加しています。

この病気は軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多く、気が付かずに感染源となる可能性があります。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。

予防接種ワクチンはなく、患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。乳幼児への感染を防ぐため、咳などの症状がある人になるべく接触させないようにし、看護する人も手洗いを十分に行ってください。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第33週の2.83から第34週では2.93と横ばいです。県全域から報告があり、幡多で減少していますが、中央西で増加しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスが11例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌、サルモネラ属菌を原因とする胃腸炎12例（第33週の報告も含む）の報告もあります。

病原体検出情報では、第 34 週に搬入された検体で須崎から Norovirus G II NT が 2 件検出されています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に冬場に流行しますが 1 年を通して発生しています。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長いときには 1 ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防対策のため、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。また、感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）調理をする場合は、十分加熱（85℃で 1 分以上）しましょう。

また、細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱（85℃で 1 分以上）は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけて下さい。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

☆野外活動の際にはマダニに注意！

第34週にSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の発生届けが1例ありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便からSFTSウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトがSFTSを発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	効力持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※ 国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

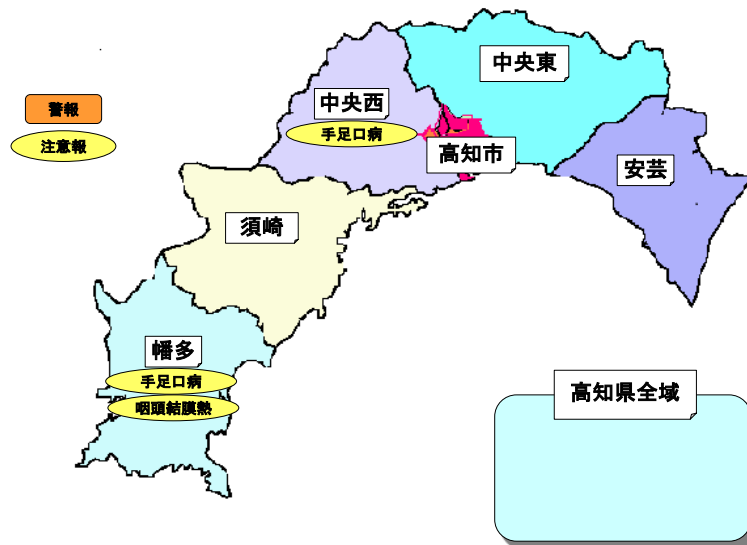
※ 市販の虫よけ剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減  
 34週（8月21日～8月27日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	2.93	幡多で減少していますが、中央西で増加しています。
RSウイルス感染症	↑	2.47	中央西で急減していますが、県全域、幡多、中央東、須崎で急増、高知市で増加しています。
手足口病	→	1.13	幡多、高知市で減少していますが、中央西、安芸で急増、中央東で増加しています。中央西、幡多で注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	0.87	須崎で急減、幡多、中央東で減少していますが、高知市で増加しています。
咽頭結膜熱	↗	0.37	高知市、中央東、須崎で急減していますが、幡多、中央西で急増しています。幡多で注意報値を超えています。

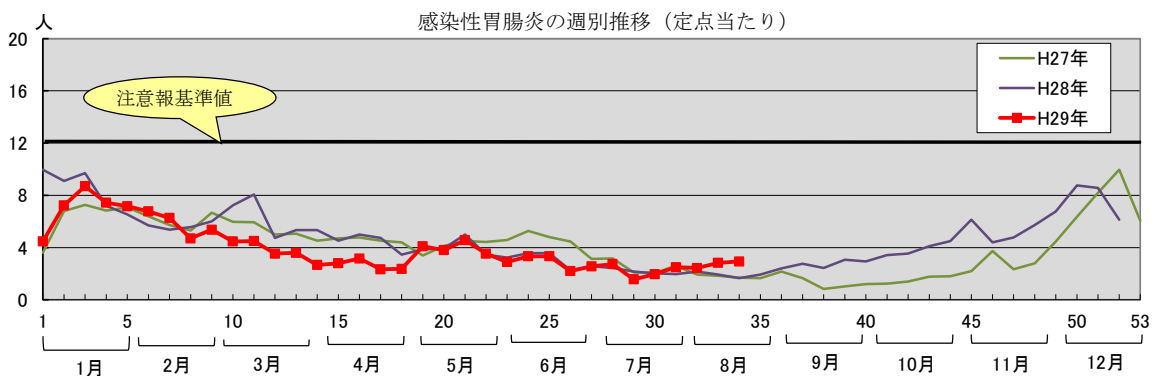
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

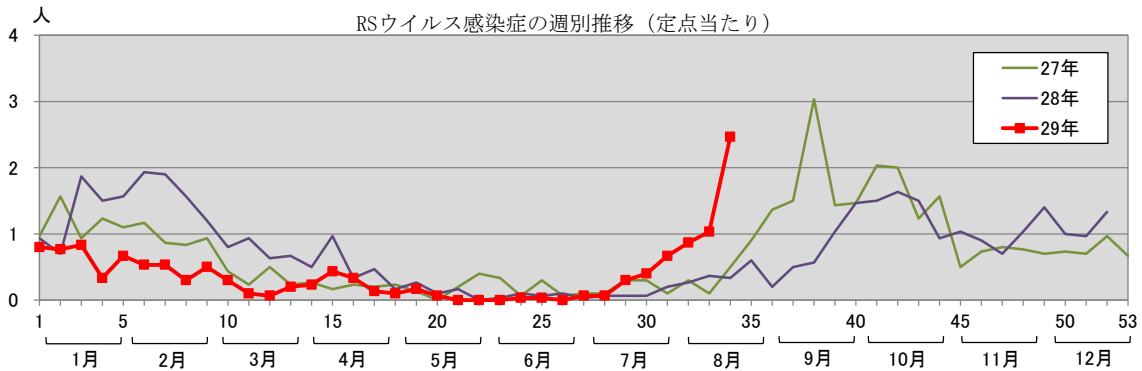
○感染性胃腸炎 第34週：2.93（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり2.93（前週：2.83）と横ばいです。幡多0.40（前週：0.60）で減少していますが、中央西1.00（前週：0.67）で増加しています。



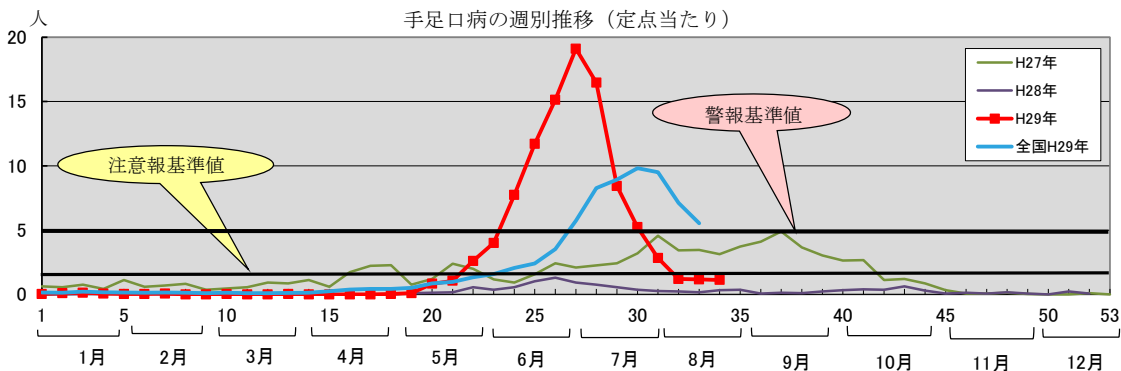
**○RSウイルス感染症 第34週：2.47（注意報値：－ 警報値：－）**

定点医療機関からの報告数は定点あたり 2.47（前週：1.03）と急増しています。中央西 0.00（前週：0.67）で急減していますが、幡多 3.80（前週：0.20）中央東 1.86（前週：0.57）須崎 0.50（前週：0.00）で急増、高知市 3.73（前週：2.18）で増加しています。



**○手足口病 第34週：1.13（注意報値：2.00 警報値：5.00）**

定点医療機関からの報告数は定点あたり 1.13（前週：1.17）と横ばいです。幡多 2.00（前週：2.80）高知市 0.64（前週：1.18）で減少していますが、中央西 3.00（前週：1.00）安芸 1.00（前週：0.50）で急増、中央東 0.71（前週：0.43）で増加しています。中央西、幡多で注意報値を超えています。



**★全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	64	80歳代 女	安芸
		1		70歳代 女	高知市
		1		80歳代 男	中央西
4類	重症熱性血小板減少症候群	1	4	70歳代 女	須崎
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	17	90歳代 女	幡多
	梅毒	1	13	20歳代 男	高知市

**★病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
34	急性咽頭炎	40℃,中枢神経系障害,	1	女	高知市	Human metapneumovirus
34	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	2	男	須崎	Norovirus GII NT
34	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
28	無菌性髄膜炎	39℃,嘔吐,嘔気,	8	女	幡多	Human herpes virus 7
32	単純疱疹（口唇）	36℃,発疹,	4	女	須崎	Human herpes virus 6
						Human herpes virus 7

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	サルモネラ感染性胃腸炎 1 例 (2 歳男) E.coli O-145 感染性胃腸炎 1 例 (2 歳男) E.coli O-86 とサルモネラ O-9 同時検出 1 例 (2 歳女)
	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (2 歳男)
	野市中央病院小児科	病原性大腸菌 O-25 (ペロ毒素 (-)) 1 例 (1 歳女)
高知市	高知医療センター小児科	アデノウイルス 1 例 (5 歳男) ノロウイルス 2 例 (1 歳女、2 歳男) RS ウイルス感染症 3 例 (1 歳男 2 人、6 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑 1 例 (2 歳女) ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (2 歳女) 水痘 1 例 (6 歳男：ワクチン未接種) 溶連菌感染症 5 例
	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (2 歳) カンピロバクター腸炎+病原性大腸菌 O-20 1 例 (15 歳) カンピロバクター腸炎 3 例 (10 歳、12 歳、19 歳) インフルエンザ B 型 3 例 (発端者はオーストラリアで罹患)
	細木病院小児科	ノロウイルス 6 例 (1 歳男 3 人、1 歳女 2 人、2 歳男)
	三愛病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (1 歳女) アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳男)
中央西	石黒小児科	帯状疱疹 1 例 (9 歳女)
	くぼたこどもクリニック	手足口病 3 例 (1 歳女 2 人、3 歳女：全て県外から帰省)
	日高クリニック	帯状疱疹 1 例 (50 歳女)
須崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎 (ノロ+) 2 例 (2 歳男、5 歳女) マイコプラズマ肺炎 1 例 (12 歳女) 33W カンピロバクター腸炎 1 例 (7 歳男)
幡多	さたけ小児科	帯状疱疹 1 例 (3 歳女)

★全国情報

第 32 号 (8 月 7 日～8 月 13 日)

1 類感染症：報告なし

2 類感染症：結核 305 例、

3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 228 例、腸チフス 2 例、パラチフス 1 例

4 類感染症：E 型肝炎 5 例、ダニ媒介脳炎 1 例、デング熱 8 例、日本紅斑熱 5 例、マラリア 1 例、  
ライム病 1 例、レジオネラ症 35 例、レプトスピラ症 1 例

5 類感染症：アメーバ赤痢 6 例、ウイルス性肝炎 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 22 例  
急性脳炎 8 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 9 例、  
後天性免疫不全症候群 14 例、ジアルジア症 2 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 3 例、  
侵襲性肺炎球菌感染症 20 例、水痘 (入院例に限る) 1 例、梅毒 46 例、破傷風 1 例、風しん 1 例、  
麻しん 3 例、薬剤耐性アシネトバクター感染症 1 例

削除予定：水痘 (入院例に限る) 1 例。

報告遅れ：細菌性赤痢 1 例、回帰熱 1 例、日本紅斑熱 3 例、マラリア 2 例、ライム病 1 例、  
レジオネラ症 7 例、レプトスピラ症 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 15 例  
急性脳炎 5 例、クリプトスポリジウム症 1 例、水痘 (入院例に限る) 4 例、梅毒 39 例、  
風しん 1 例



高知県感染症情報(59定点医療機関)

第34週 平成29年8月21日(月)～平成29年8月27日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第34週							計	前週	全国(33週)	高知県(34週未累計) H29/1/2～H29/8/27	全国(33週未累計) H29/1/2～H29/8/20	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市						
インフルエンザ*	インフルエンザ			1	4					5 ( 0.10)	4 ( 0.08)	671 ( 0.14)	14,647 ( 305.15)	1,365,155 ( 276.24)	
小児科	咽頭結核膜炎				1	1				9	9 ( 0.30)	1,499 ( 0.49)	282 ( 9.40)	57,987 ( 18.37)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2	19	2			3	26 ( 0.87)	2,835 ( 0.93)	1,873 ( 62.43)	245,365 ( 77.72)	
	感染性胃腸炎		5	27	43	3	8			2	88 ( 2.93)	8,290 ( 2.71)	4,042 ( 134.73)	589,197 ( 186.63)	
	水痘		1	1	3					2	7 ( 0.23)	695 ( 0.23)	422 ( 14.07)	37,767 ( 11.96)	
	手足口病		2	5	7	9	1			10	34 ( 1.13)	16,943 ( 5.54)	2,979 ( 99.30)	227,005 ( 71.91)	
	伝染性紅斑				1						1 ( 0.03)	151 ( 0.05)	108 ( 3.60)	8,489 ( 2.69)	
	突発性発疹				6						6 ( 0.20)	1,129 ( 0.37)	372 ( 12.40)	48,038 ( 15.22)	
	百日咳										( )	1 ( 0.03)	33 ( 0.01)	21 ( 0.70)	1,011 ( 0.32)
	ヘルパンギーナ			1	4						5	10 ( 0.33)	3,632 ( 1.19)	448 ( 14.93)	56,950 ( 18.04)
	流行性耳下腺炎				1	1						2 ( 0.07)	1,177 ( 0.38)	170 ( 5.67)	58,509 ( 18.53)
RSウイルス感染症			13	41			1		19	74 ( 2.47)	31 ( 1.03)	5,389 ( 1.76)	400 ( 13.33)	45,789 ( 14.50)	
眼科	急性出血性結膜炎									( )	( )	6 ( 0.01)	( )	293 ( 0.42)	
	流行性角結膜炎									( )	( )	584 ( 0.85)	11 ( 3.67)	15,284 ( 22.02)	
基幹	細菌性髄膜炎									( )	( )	14 ( 0.03)	2 ( 0.25)	328 ( 0.69)	
	無菌性髄膜炎									( )	( )	30 ( 0.06)	7 ( 0.88)	593 ( 1.24)	
	マイコプラズマ肺炎				1						1 ( 0.13)	138 ( 0.29)	71 ( 8.88)	5,036 ( 10.56)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1						1 ( 0.13)	6 ( 0.01)	7 ( 0.88)	166 ( 0.35)	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										( )	7 ( 0.01)	86 ( 10.75)	4,840 ( 10.15)	
計	(小児科定点当たり人数)	8 ( 4.00)	50 ( 7.09)	132 ( 11.71)	16 ( 5.33)	10 ( 5.00)	50 ( 10.00)	266 ( 8.73)		43,229	25,948 ( 675.71)	2,767,802			
前週	(小児科定点当たり人数)	8 ( 4.00)	44 ( 6.22)	112 ( 9.99)	9 ( 3.01)	15 ( 7.50)	31 ( 6.20)		219 ( 7.21)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第34週							計	前週	全国(33週)	高知県(34週未累計) H29/1/2～H29/8/27	全国(33週未累計) H29/1/2～H29/8/20
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ*	インフルエンザ		0.09	0.25						0.10	0.08	0.14	305.15	276.24
小児科	咽頭結核膜炎				0.09	0.33				1.80	0.37	0.49	9.40	18.37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	1.73	0.67				0.60	0.87	0.83	62.43	77.72	
	感染性胃腸炎		2.50	3.86	3.91	1.00	4.00		0.40	2.93	2.83	134.73	186.63	
	水痘		0.50	0.14	0.27				0.40	0.23	0.17	14.07	11.96	
	手足口病		1.00	0.71	0.64	3.00	0.50		2.00	1.13	1.17	99.30	71.91	
	伝染性紅斑				0.09					0.03	0.03	0.05	3.60	2.69
	突発性発疹				0.55					0.20	0.30	0.37	12.40	15.22
	百日咳										0.03	0.01	0.70	0.32
	ヘルパンギーナ		0.14	0.36					1.00	0.33	0.37	14.93	18.04	
	流行性耳下腺炎				0.09	0.33				0.07	0.07	5.67	18.53	
RSウイルス感染症		1.86	3.73			0.50	3.80	2.47	1.03	1.76	13.33	14.50		
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.42	
	流行性角結膜炎										0.85	3.67	22.02	
基幹	細菌性髄膜炎										0.03	0.25	0.69	
	無菌性髄膜炎										0.06	0.88	1.24	
	マイコプラズマ肺炎				0.20				0.13	0.13	0.29	8.88	10.56	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13		0.01	0.88	0.35	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										0.01	10.75	10.15	
計	(小児科定点当たり人数)	4.00	7.09	11.71	5.33	5.00	10.00	8.73			675.71			
前週	(小児科定点当たり人数)	4.00	6.22	9.99	3.01	7.50	6.20		7.21					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869